

丸田たかあき 後援会たより

五島市中央町7番地25

丸田たかあき後援会

会長 松本 勝久

☎ 090・2080・8438

五島市のみなさん！

大波止を降りてくると、ランドマークになるものがありません。

広い空間をもつ港は賑わいと活気があった港も忍び寄る減退を感じさせて寂しい限りです。

大波止からなだらかな坂を上がること、かつての中心市街地があります。

福江大火を乗り越え、再生した街祭りのときは、車道にすら人があふれ、まさに福江市の顔というにふさわしい賑わいを見せていました。

五島の特産品を扱う店は、お土産品を求める観光客や釣客で賑わっていたものです。

町には書店も3軒もありました。それが、今は一軒もないのです。風中には、買い物客や子供たちがいた町通りが、今は見る影もありません。

せん。

夜になれば、八角井戸のあたりまで賑やいでいたのに、おとなたちはどこにいったのでしょうか。

なぜか！

五島市民、わたしたちが悪いのでしょうか？
五島を出ざるを得なかった人た

『っこんな街にしたいっ ちや、だっがよ！』

本当にそついう声が、怒りが腹の底に湧き上がってくのです。

かつては、町の若者たちが、「島おこし」に頑張っていました。

町のおとなたちも一緒に頑張っていたものです。

それが今、そついう人たちの姿を見ることがありません。

ちが悪いのでしょうか？

国のせいっか？

そつではありません！

理由は明らかです。

街を歩くと、その答えがあちらこちらから聞こえてきます。

市政が、市民の声を聞いていないのです。

町の賑わいを守るために、集中し

なければならぬのに、分散化し、このシャッター街をつくってしまったのです。

そして、市議会議員が市民の代弁者として役割を果たしていない。

今回の市議会議員選挙、本場に街の声を届ける者を選ぶチャンスです。

地縁、血縁は大事です。

しかしそついうものを越えて、本場に町の活性化のために貢献できるものは誰か！それを考えてください。

街の再生・活性化のために、

丸田 たかあき

だと確信しています。

『なんとかせんばいかん！』、その想いだけで立候補しました。